

## 教員養成に係る授業科目及び担当教員

### 【教育の基礎的理解に関する科目等】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数	担当教諭
教育原理	1年次以上	必修	2	菅原 亮芳
教職論	1年次以上	必修	2	菅原 亮芳
学校の制度	2年次以上	必修	2	松嶋 哲哉
学習・発達論	1年次以上	必修	2	下山 寿子
特別支援教育基礎	2年次以上	必修	1	下山 寿子
教育課程論	2年次以上	必修	1	菅原 亮芳
「総合的な学習の時間」の指導法	2年次以上	必修	1	菅原 亮芳 下山 寿子
特別活動の指導法	3年次以上	必修	2	下山 寿子
教育方法論	2年次以上	必修	1	菅原 亮芳
生徒・進路指導論	2年次以上	必修	2	下山 寿子
教育相談の理論と方法	1年次以上	必修	2	下山 寿子
教育実習(事前指導)	3年次以上	必修	1	菅原 亮芳 下山 寿子
教育実習	4年次以上	必修	2	菅原 亮芳 下山 寿子
教職実践演習(高)	4年次以上	必修	2	菅原 亮芳 下山 寿子

### 【大学が独自に設定する科目】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数	担当教諭
道徳教育指導論	1年次以上	必修	2	松嶋 哲哉
介護等体験指導	1年次以上	選択	1	下山 寿子

### 【教員職員免許法施行規則に定める科目】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数
法律と人権(日本国憲法を含む)	1年次以上	必修	2
スポーツ実技Ⅰ	1年次以上	必修	1
スポーツ実技Ⅱ	1年次以上	必修	1
英語Ⅱ(応用)	1年次以上	必修	2
情報リテラシーⅠ	1年次以上	必修	1
情報リテラシーⅡ	1年次以上	必修	1

### 【教科及び教科の指導法に関する科目】

科目名称	履修学年	必修・選択	単位数
職業指導(経営・会計)	3年次以上	必修	2
商業科教育法Ⅰ	3年次以上	必修	2
商業科教育法Ⅱ	3年次以上	必修	2

## 教員養成に係わる専任教員の経歴・専門分野・研究業績等

菅原亮芳教授 (SUGAWARA AKIYOSHI)

職名・役職名	教授
学 位	博士 (教育学) (九州大学)
略 歴	1991～2002年 財団法人日本私学教育研究所・主任研究員 (教育課程、初任者研修 等担当専門研究員) 2002年～現在に至る 高崎商科大学教授
担当科目	教育原理、教職論、教育課程論、「総合的な学習の時間」の指導法、教育方法論、教育実習 (事前指導)、教育実習、教職実践演習(高)、介護等体験指導、職業指導
専 門	教育学・教育史。近代日本教育情報史研究、近代日本教育キャリアデザイン形成史研究、近代日本における青年の「学び」の構造史、近代日本における育英奨学事業の歴史的研究、近代日本における教員論の系譜、準専門職志望者に伝えられたキャリア情報・試験情報並びに言説に関する史的研究
主要業績	1987年～93年共編著『近代日本教育関係雑誌目次集成』(全85巻) 1992年共著『私立学校の歴史(上)』 1993年共著『近代日本における知の配分と国民統合』 1993年共著『私立学校の歴史(中その1)』 1995年単著『私立学校の歴史(中その2)』 1997年共著『「文検」の研究』 単著『私立学校の歴史(中その3)』 1998年共著『私立学校の歴史(下)』 2003年共著『「文検」試験問題の研究』 2005年共著『近代日本中等教員養成に果たした私学の役割に関する歴史的研究』 2008年単独編『受験・進学・学校』 2011年単独編『近代日本人のキャリアデザインの形成と教育ジャーナリズム』(科研費報告書) 2012年単著『近代日本における青年の「学び」と教育情報』(学位博士論文・九州大学) 2013年単著『近代日本における学校選択情報－雑誌メディアは何を伝えたか』 2014年単著「資格への学びと学びの近代(資格志向と生涯教育への時代の到来を視野に入れつつ)」 共著「近代日本『職業案内書』文献目録」 2016年単著「準専門職の基本的特徴と日本の教員の専門職論の系譜・序説」 単著「総合的な学習の時間の設計と運営と目標と学習指導法について」 単著「教育実習の意義と心構え」 2017年単著「進路指導・キャリア教育基礎理論」 単著「特別支援学校における介護等体験のための事前指導と体験の実相 そしてアセスメントとその対応に関する考察」 単著「教育の理念・教育とは何か」 共著『教育課程』 単著『教育の方法と技術』 単著「教育実習中の教科『商業』学習指導案の書き方に関する考察」 単著『「学びの軌跡の集大成」としての教職実践演習の意味に関する考察」 2018年共著「総合的な学習の時間・キャリア教育・道徳科と各教科・領域(教育内容の選択と配列)との 関連構造に関する小考一知の総合化を志向して」
	他

下山寿子 (SHIMOYAMA TOSHIKO)

職名・役職名	教授・学生部長
学 位	文学修士 (立教大学)
略 歴	1996年～1999年 立教大学文学部教育学科助手 2002年～2004年 高崎商科大学専任講師 2005年～2011年 同大学助教授・准教授 2012年～現在に至る 同大学教授 臨床心理士、認定カウンセラー、認定スーパーバイザー、ガイダンスカウンセラー
担当科目	学習・発達論、特別支援教育基礎、「総合的な学習の時間」の指導法、特別活動の指導法、生徒・進路指導論、教育相談の理論と方法、教育実習 (事前指導)、教育実習、教職実践演習 (高)、介護等体験指導
専 門	教育心理学、学校臨床心理学。教育心理学説史研究、不登校の研究、芸術療法としてのコラージュ製作の解釈学的基礎づけに関する研究、近代日本教育心理学における「教育病理」の系譜と心理・教育ジャーナリズム、近代日本の準専門職形成史の研究
主要業績	1993年共著『実践教育相談シリーズ 人間関係についての相談』 1994年共著『人間の発達と臨床心理学4思春期・青年期の臨床心理学』 1999年共著『現代のエスプリ コラージュ療法』 2004年共著『新臨床心理学』 共著『コラージュ療法・造形療法』 2004年～2014年共著『検証・教育実習』 2006年単著『日本におけるコラージュ療法研究関係文献目録』 2008年共著『受験・進学・学校』 共著『障害児の理解と支援』 2009年単著『近代日本教育心理学における「教育病理」の系譜と心理・教育ジャーナリズム』(科研費報告書) 2011年共著『近代日本人のキャリアデザインの形成と教育ジャーナリズム』(科研費報告書) 2013年「芸術療法としてのコラージュ製作の解釈学的基礎づけに関する基礎的研究(1) —自傷行為を訴える女子学生を例として—」 2014年共著「近代日本『職業案内書』文献目録」 2016年単著「総合的な学習の時間の指導と全体計画作成について」 単著『『総学』指導法としての単元計画の作成と指導案作成の視点について』 単著「ピアジェとマズローの理論の特質について」 単著「ロジャースのカウンセリング理論の一断面」 単著「教育実習評価票詩論」 2017年単著『『総合的な探究の時間』指導法と読書指導・調書調査』 共著『教育課程論』 共著『教育課程』 単著「本学介護体験指導を通して見た特別の支援を必要とする児童・生徒理解と対応」 単著『『近代日本における「教育病理学」移入課程と心理・教育・精神医学ジャーナリズム』 共著『特別の支援を必要とする児童・生徒の理解と対応に求められる教員の地域貢献に関する研究』 共著『生徒指導・進路指導(キャリア教育)と教育相談』 共著「教育実習を考える」 単著「教職実践演習・教育実習生の生徒指導・生徒理解の『到達目標確認』に関する一考察」 2018年単著『『総合的な学習の時間』の評価を考える』 2019年単著『『総合的な学習・探究の時間』で育成する『資質・能力』と各学校設定学習内容 —各学校が定める知のカテゴリー(=学習内容)と授業時数・特別支援教育— 単著「学習指導要領に見る『総合的な学習(探究)の時間』の目標(ねらい)の特質とその変化 —カリキュラム開発と教育課程上の位置づけに関する詩論—」 他